

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

コミュニティ・スクールが始動 2 年目

みんなでつくる地域の学校



岳洋学舎第1回学校運営協議会(小笠南小)

学校運営協議会は
年6回開催します。

- (1) 5 / 12 小笠南小
- (2) 6 / 10 岳洋中
- (3) 8 / 3 中央公民館
- (4) 9 / 3 小笠東小
- (5) 11 / 18 小笠北小
- (6) 1 / 21 岳洋中

「育てたい子ども像」
を共有し、その達成に
向けた手立てを考え、
行動につなげます。

菊川市では、中学校区を1つのまとまり(学舎)として、学校運営協議会を設置しています。学舎内の保護者や地域住民の代表者と学校の代表者が運営委員となり、責任ある立場で学校運営に参画しています。この仕組みをコミュニティ・スクールと呼びます。

本年度のテーマは、地域の皆さんといっしょに「**子どもたちの読書環境を整える**」です。地域の皆さんや読書ボランティアさんの応援が、子どもたちの本への興味をさらに広げるきっかけになっています。

令和8年度 学校運営協議会委員の紹介

江川正徳 (会長: 高橋)	松下知生 (高橋)	松下貴則 (河東)
塚本隆男 (下平川)	桐岡薫 (嶺田)	井上あゆみ (嶺田)
岡田正義 (猿渡)	渡邊朗由 (猿渡)	早野美幸 (川上)
佐塚隆雄 (高橋)	赤堀恵子 (高橋)	松本浩昭 (高橋)
曾根智也 (園代表)	ひかり保育園長	山崎公男 (副会長: 代表校長 岳洋中)
大石佳治 (小笠東小校長)	三浦善友 (小笠北小校長)	大庭章弘 (小笠南小校長)

以上 17 人です。(敬称は略)

* 委員は、校長が推薦し、教育委員会が委嘱します。

子どもに『本を読むひととき』を贈りませんか。^{おく}

いつも学校の活動を温かく支えていただき、ありがとうございます。子どもたちが本を読んだり、お話を聞いたりする時間は、豊かな心や想像力を育む宝物のような時間です。

スマホやタブレットが便利な時代だからこそ、ほっと一息ついて本と向き合う時間を、学校・家庭・地域がみんなで一緒に作っていきませんか。

「毎日忙しくて時間がない…」というご家庭も、**まずはできることから**で大丈夫です。



- ・ テレビやスマホを少しだけお休みして、家読（うちどく）の時間を楽しんでみる。
- ・ 「この本、おもしろそうだよ」と、リビングにそっと置いておく。
- ・ 子どもが読書しているとき、おうちの方がとなりで自分の本や雑誌を読んでみる。
- ・ お休みの日に、家族で市立図書館に行ってみる。
- ・ 見守り活動や地域の行事で子どもたちと会った時、「最近、図書館でどんな本を借りた？」と声をかけてみる。

まずは 10 分間、子どもが本に触れる時間を増やすことから始めてみませんか。
学校では、ボランティアの皆さんと協力しながら、子どもたちがわくわくする読み聞かせの時間や図書館づくりを進めています。

＜文 学舎 D 大石＞



生徒と一緒に読書活動を呼び掛けました。
(岳洋中)



朝の読み聞かせが、今年から再開しました。
(小笠東小)



朝の読書時間や昼休みの「ピノキオさん」の読み聞かせを楽しみにしています。(小笠北小)



こども園の先生が、4 月当初、1 年生の教室で読み聞かせをしてくれました。(小笠南小)